

# 産地生産基盤パワーアップ事業

【令和2年度第3次補正予算額 34,160百万円】

## <対策のポイント>

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等に対して総合的に支援します。また、輸出関連等の事業者と農業者が協働で行う取組の促進等により海外や加工・業務用等の新市場を安定的に獲得していくための拠点整備、全国産地の生産基盤の強化・継承、堆肥の活用による全国的な土づくり等を支援します。

## <事業目標>

- 青果物、花き、茶の輸出額の増加（農林水産物・食品の輸出額2兆円 [2025年まで]、5兆円 [2030年まで]）
- 品質向上や高付加価値化等による販売額の増加（10%以上 [事業実施年度の翌々年度まで]）
- 産地における生産資源（ハウス・園地等）の維持・継承 等

## <事業の内容>

### 1. 新市場獲得対策

#### ① 新市場対応に向けた拠点事業者の育成及び連携産地の体制強化

新市場のロット・品質に対応できる拠点事業者の育成に向けた貯蔵・加工・物流拠点施設等の整備、拠点事業者と連携する産地が行う生産・出荷体制の整備等を支援します。

#### ② 新市場対応を支える物流体制の革新

生産コスト低減に向けた肥料物流の合理化を図るため、統一規格の追跡型パレットの導入や管理システムの開発の実証等を支援します。

### 2. 収益性向上対策

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等を総合的に支援します。

### 3. 生産基盤強化対策

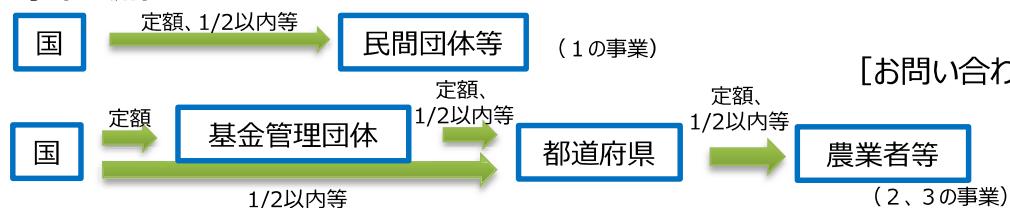
#### ① 生産基盤の強化・継承

農業用ハウスや果樹園・茶園等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修・継承ニーズのマッチング等を支援します。

#### ② 全国的な土づくりの展開

全国的な土づくりの展開を図るため、牛ふん堆肥等を実証的に活用する取組を支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 農業の国際競争力の強化

#### 輸出等の新市場の獲得

ニーズに合ったロット・品質で安定的に供給

#### 新たな生産・供給体制

農業者と協業する輸出事業者等による貯蔵・加工等の拠点整備、産地の生産・出荷体制の整備



拠点事業者の貯蔵・加工施設 安定生産技術・品質保持

#### 産地の収益性の向上

#### 収益力強化への計画的な取組



農業機械のリース導入・取得 生産資材の導入 施設整備

#### 生産基盤の強化



・継承ハウス、園地の再整備・改修



・牛ふん堆肥等を活用した土づくり

(1 ①、2 の事業)	生産局総務課生産推進室	(03-3502-5945)
(1 ②の事業)	技術普及課	(03-6744-2435)
(3 ①の事業)	園芸作物課	(03-6744-2113)
(3 ②の事業)	農業環境対策課	(03-3593-6495)

# スマート農業技術の開発・実証プロジェクト

【令和2年度第3次補正予算額 6,200百万円】

## <対策のポイント>

国際競争力の強化に向け、ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」をテーマに基づき現場に導入・実証し、拡大する海外の食料市場への対応や国内の食料生産基盤の強靭化等に資するスマート農業技術の開発・実証を行います。

## <政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

### <事業の内容>

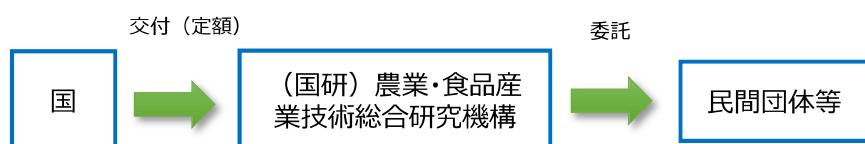
先端技術を活用して持続可能な生産基盤を構築するため、輸出重点品目の生産拡大やシェアリング等の新たな農業支援サービスなどの**テーマに基づいた実証**、国内外のニーズに応え、持続可能で国際競争力の高い生産基盤の構築を見据えた**スマート農業技術の開発・実証**を実施します。

#### 【実証テーマ】

- ① 海外ニーズに合わせた輸出重点品目等の生産・出荷体制の構築
- ② シェアリング等の新たな農業支援サービスの活用
- ③ 需要変化対応や、生産・消費の連携等のスマート商流の実現
- ④ 「新しい生活様式」に対応したリモート化・超省力化
- ⑤ 強靭で持続可能な地域農業の構築

併せて、スマート農業と連携しつつ、海外ニーズに対応した栽培技術・品種開発等を実施します。

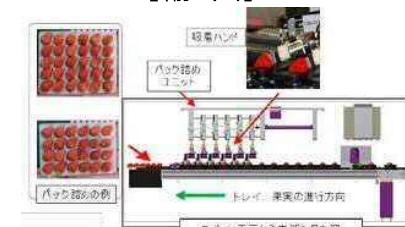
### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

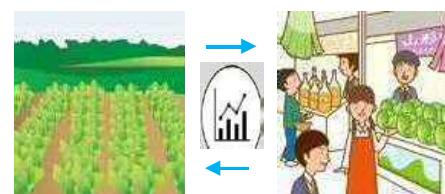
#### テーマに基づいたスマート農業技術の実証イメージ

##### 【輸出】



長距離輸送に対応した生産・出荷技術

##### 【スマート商流】



店舗からの情報を先取りし、  
予測モデルによる生産・流通の最適化

##### 【新たな農業支援サービス】



シェアリング等により、保有機の稼働率を向上しつつコスト低減

##### 【リモート化】



収穫後の運搬・出荷時の自動積載

「スマート農業」の社会実装を加速化

[お問い合わせ先] 農林水産省技術会議事務局研究推進課 (03-3502-7437)

# 農林水産業の担い手の確保・育成のうち 担い手確保・経営強化支援事業

【令和2年度第3次補正予算額 4,079百万円の内数】

## <対策のポイント>

農産物の輸出に向けた取組など意欲的な取組により農業経営の発展を図ろうとする担い手に対し、必要な農業用機械・施設の導入を支援します。また、優先枠を設定し、スマート農機等の導入を重点的に支援します。

## <事業目標>

次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成（付加価値額の1割以上の拡大）

### <事業の内容>

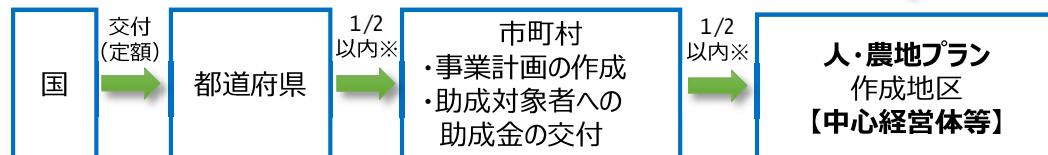
#### 1. 事業概要

- ① **人・農地プラン**に基づき、農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化に取り組んでいる地域等において、農産物の輸出に向けた取組など意欲的な取組により、農業経営の発展を図ろうとする担い手が、融資を活用して農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付することにより、主体的な経営発展を支援します。
- ② 優先枠を設定し、農産物の輸出の拡大等に向け、発展が著しいロボット、AI、IoT等のスマート農業に活用できる新たな技術の生産現場への導入を重点的に支援します。

#### 2. 助成対象者

人・農地プランに位置付けられた**中心経営体**（認定農業者、認定就農者又は集落営農組織に限る）、農地中間管理機構から賃借権等の設定等を受けている者又は地域における継続的な農地利用を図る者として市町村が認める者

### <事業の流れ>



※ 配分上限額：個人1,500万円、法人3,000万円  
(市町村が認める者は100万円)

### <事業イメージ>

#### 背景・課題

本格的な少子高齢化・人口減少による農産物・食品の消費減少が見込まれる中、農業者の所得の確保・拡大を図る必要

#### 意欲的な取組による経営発展に必要な機械・施設の導入

農産物の輸出に向けた取組、低コスト化や品目転換・拡大などのチャレンジにより経営発展を図ろうとする担い手の農業機械等の導入を支援



#### 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成 力強く持続可能な生産構造の実現

[お問い合わせ先] 経営局経営政策課担い手総合対策室 (03-3502-6444)

# 国営農地再編整備事業<公共>

【令和3年度予算概算決定額 37,362（35,127）百万円】  
（令和2年度第3次補正予算額 17,824百万円）

## <対策のポイント>

広域的な農地の大区画化や排水改良を行い、農地集積・集約化を加速とともに、耕作放棄地の解消・未然防止、生産コスト低減や高収益作物への転換等による産地収益力の向上を図ります。また、国産飼料生産基盤の強化のため、牧草・飼料作物の生産地帯を対象とした基盤整備の促進を図ります。

## <事業目標>

担い手が利用する面積が全農地面積の8割となるよう農地集積を推進 [令和5年度まで]

### <事業の内容>

#### 1. 国営緊急農地再編整備事業（施行申請期限：令和3年度末まで）

- 基幹事業：区画整理
- 併せ行う事業：農業用排水施設、農業用道路の整備、暗渠排水、客土、農用地の改良又は保全

#### 【採択要件】

- 耕作放棄地及び耕作放棄のおそれがある農地が一定割合以上 等

#### 2. 国営農地再編整備事業（中山間地域型）

- 基幹事業：区画整理、開畠、農地保全
- 併せ行う事業：農業用排水施設

#### 【採択要件】

- 中山間地域であること 等

#### 3. 国営農地再編整備事業（次世代農業促進型）

- 基幹事業：区画整理
- 併せ行う事業：農業用排水施設、農業用道路の整備、暗渠排水、客土、農用地の改良又は保全

#### 【採択要件】

- 高収益作物の作付面積割合が一定割合以上増加すること 等

#### 4. 国営農地再編整備事業（草地整備型）

- 基幹事業：区画整理
- 併せ行う事業：農業用排水施設、農業用道路の整備、暗渠排水、客土、農用地の改良又は保全

#### 【採択要件】

- 受益面積 1,000ha以上
- 中山間地域であること
- 目標年度までに一定の農地集積条件を満たすこと
- 畜産クラスター計画との連携

※下線部は拡充内容

### <事業イメージ>

事業実施前



小区画で不整形な農地

事業実施後



農地の大区画化、耕作放棄地発生の防止

#### 農地の大区画化・排水改良等

- 農地の大区画化や排水改良（地下かんがいシステムの導入等）を実施



農地の大区画化、排水改良



地下かんがいシステムの導入

#### 産地収益力の向上等

- 自動走行農機等に対応した農地整備により、自動走行農機等の省力化技術の導入を促進。



農機の旋回を容易にし、作業効率が向上するターン農道



自動走行農機の無人運転の状況

- 高収益作物への転換を促進



たまねぎの生産拡大



キャベツの生産拡大

## <事業の実施主体>

国（国費率：内地2/3、北海道75%）

[お問い合わせ先] 農村振興局農地資源課（03-6744-2207）